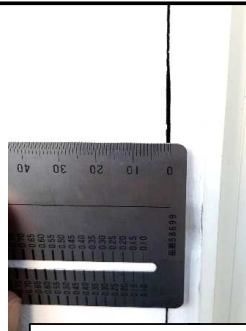


廿日市店外壁塗装替完了



塗装前：写真では分かりにくいですがかなり汚れてます



1mm以上収縮して隙間ができていました



完成：引き締まった感じになりました

廿日市店が2006年に宮内から現在の宮園に新築移転して早いもので16年となりました。偏にご愛顧いただいたお客様のお陰と感謝申し上げます。昨年は事務所内の改修など行ってきましたが、16年も経ちますと遠目では分かりにくいのですが、社屋の外部の劣化が進み、外壁の汚れや色の退色だけでなく、特にサイディングのシーリング部の劣化がかなり激しく、“紺屋の白袴”と言われたいにも外部の塗装替を行いました。

左の写真のように、シーリング部は1mm程の隙間が収縮によってできており、打ち増しなどで修復できるものではないので、シーリング部は全て撤去して打替えし塗装を行いました。

さて、これで15年間外部は大丈夫だと思いますのできれいになった事務所で頑張ってもらいましょう！そして15年後には塗装替えではなく新しい社屋となる事を夢見ましょう～(啓)



訃報 河野玉男前社長ご逝去



さる1月31日に弊社先代の社長をされた河野玉男さんが急性心不全のためお亡くなりになりました。享年85歳でした。河野玉男さんは34歳の時に兄である私の父と二人でゲイナンハウスの前身である芸南ハウス設備を創業し、平成15年に引退されるまでの33年にわたって弊社を支えて下さいました。創業期のご苦労はさぞかし大変だったのではと思いますが、いつも明るく、穏やかで、怒ったところを見たことがありませんでした。またお酒が大好きで、仕事が終わると事務所で美味しそうに飲まれていた姿が目には焼き付いています。

創業からのご功勞に対しまして、改めて感謝申し上げますと共に、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

<ウォシュレット及び給湯機等納期遅れについて>



コロナの影響で、東南アジアのロックダウンによる生産遅れや、世界的な電子部品の需要増によりトイレのウォシュレットや、エコキュートやガス給湯器など多くの住宅設備機器の納期が遅れています。最近の状況では、早いもので1か月、遅いものだと3か月余りかかっているようです。

申し訳ございませんが、状況をご理解いただき、ご検討されておられるお客様は早めにご相談いただきますようお願い申し上げます。

連休の休業について

4月29日(金)～5月5日(木)までお休みさせていただきます

「住いの困った」は ゲイナンハウス 大竹店・廿日市店共に
フリーダイヤル0120-505-375 URL:<http://www.geinan-house.co.jp/>
最後までお読みいただき有難うございました、次回は8月頃の予定です。(啓)
*尚、この「住まいる通信」がご不要の方はご一報願います。送付を停止いたします。



みなさんこんにちは！ついこの前正月を迎えたかと思っていたら、あれよあれよという間に新年を迎えてしまいました。ゲイナンハウスも令和4年度のスタートです。

今年の冬は例年よりも寒かったですね～！お陰で趣味のスキーに例年以上の5回も行くことができ、楽しませていただきました。ただ、コロナの影響で大山スキーツアーに行けなかったのが残念ですが、来年に楽しみは取っておきましょう！

さて、上の写真は私が仕事をしている机の横の棚に飾ってある鷹の置物です。この置物は2002年に私が社長になった時にお祝いとして、お客様でもあり母の長年の親友であるM様からいただいたものです。鷹の置物は「強靱な爪は幸運を掴み、鋭い眼光は邪気を払う」とのことで、お陰様で私が社長になってからは、色んなことはありましたが、何とか20年間やってこれたのは、勿論お客様・社員・協力業者のお陰ですが、併せてこの鷹の置物のお陰とM様に感謝する次第です。たまに事務所で夜一人で考え事をしている時、ついこの鷹と目が合います。すると「啓ちゃん、頑張りんさい！」と不思議とこの鷹をいただいたM様の声が聞こえてくるような気がします。早いものでお亡くなりになられて4年も経ちますが、鷹の置物を通じて応援していただけることに有難さを痛感します。

工事が終わった時に完工の確認にお伺いするのが私の役割の一つで、先日玄関回りのリフォーム工事をさせていただいたお客様宅をお伺いしました。すると奥様が私の顔を見るや「住まいる通信いつも楽しく読ませてもらってます！」とおっしゃっていただきました。我々の業界でもお客様との関係づくりに、インターネットのSNSの活用でもちきりですが、我が社のお客様には、私自身もよく分からないSNSなるものよりも、紙媒体の読み物の方がわが社にはうってつけなことを再認識させていただいた次第です。

この「住まいる通信」は年に4回ほど送らせていただいておりますので、3か月に一度。そう思うとついこのん気に構えてしまいますが、思いの外締め切りが来るのは早いものです。新聞や週刊誌に連載している読み物を見る度に、作家は大変だなと少しだけプチ作家気分(笑)に浸っておりますが、いずれにしても、皆様楽しく読んでいただけるよう今年度も頑張ります！(啓)



河野





ドローンで安全に“屋根点検”

今年に入って、宮園団地などのお客様から「訪問販売の人が来て、お家の屋根の漆喰が剥がれているので、雨漏れの原因になりますよ！」と言われたので見て欲しい！と言う依頼が立て続けにありました。左のチラシはポストに入っていたお客様が送ってくれたもので、どうやって屋根をチェックしたかは不明ですが、いかにも放っておいたら良くないと思わせるチラシです。これまでも、屋根の点検の依頼は時折ありますが、屋根点検は高所作業のため危険が伴うので、ドローンで点検出来たらなあと話をしていました。そこで今回の立て続けの依頼を受け、ドローンで点検できる準備に取り掛かった次第です。

ドローンは住宅地などの密集地は飛行許可が無くては勝手に飛ばすことができません。そこで、まずは宮本君が操縦技能のスクールに行きライセンスを取得。そしてドローンを購入し申請のための登録を行い、現在飛行申請をしている状況です。この飛行申請許可が5月頃までには降りる予定ですので、それ以降ドローンによる屋根点検ができる予定です。



DJI製
MAVIC3

左が宮本君の修了書です。今後ドローンの操縦資格は国家資格になるようで、この修了書があれば学科は免除される予定のようです。右が今回購入したドローンでDJIと言うメーカー(中国製)です。現在日本でも7割以上がこのDJI製とのことです。上下左右センサーで感知し建物などに当たらないようになっているとの事で、宮本君が自宅で試運転したら、狭い場所では止まったまま動かさず困ったとこぼしていました。



上空20mから撮った屋根全体写真



屋根に近づいての撮影

上の写真は、住宅密集地でない(飛行許可が不要)お宅で、トライアルで飛ばしてみても撮った写真です。上左は屋根全体を撮影した写真ですが、パソコンで拡大してみると、瓦一枚一枚の状態が鮮明に分かりました。また上右の写真では昨年補修した棟漆喰の状態もよく分かり、屋根屋さんが丁寧な仕事をしたことも分かりました。大加瀬瓦さんいい仕事しました(笑)。

飛行許可が下りてドローンでの点検ができるようになりましたら改めてご案内しますので、屋根や樋がご心配な方がおられましたらお申し込みください。



撮影している様子

前々回の施工事例

「子犬がドッグランできる人工芝の庭へのリフォーム」を見て孫が水遊びできる庭にしたい！



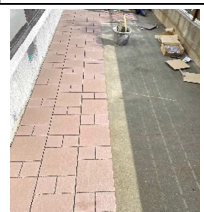
着工前



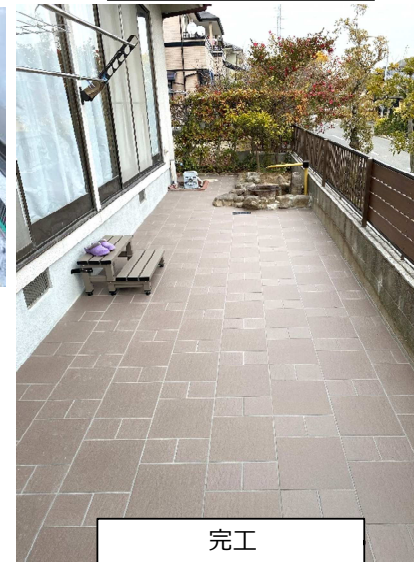
スキ取り状況



碎石下地



タイル施工状況



完工

前々回の住まいる通信に掲載した施工事例「子犬がドッグランできる人工芝の庭へのリフォーム」を見て、自宅の庭をリフォームしたいご連絡いただきました。

お話を伺うと、これまでは同居されているお母様が庭の手入れをされていたとの事ですが、高齢になられ手入れができなくなり、何とかしなくてはと思われていたとの事です。

昨年近くに住まわれている息子さんに初孫ができ、この施工事例を見て、水遊びできるような庭にできないかと思われたそうです。

施工は、庭木などを全て撤去し鋤取りを行いタイル下地を作成しタイル張りを行っています。写真奥に見える“つくばい”もきれいに再生され、素敵なお庭になったと喜んでいただきました。

さて、水遊びで喜ぶお孫さんの声が聞こえてきそうです！



バリアフリー施工事例 トイレ段差改修工事

“敷居を撤去してバリアフリーに”



施工前は写真のように廊下から4cm程の高さの敷居があり、トイレの床も廊下よりも高くなっていました。この段差に足が引っかかって転倒されたとのことで、今回敷居を撤去しトイレの床を廊下と同じ高さにし、床の仕上げも滑りにくい木目調のクッションフローで仕上げました。便器も立ち上がりやすい通常よりも少し便座が高い便器に取替えています。

お話を伺ってみると、長年使い慣れた感覚があるので、床が低くなっていることに慣れるまで数日かかったと言われてました。便座の高さも、立ち上がりは楽だけど座った時に太ももに便座が当たるので、背の低い人には向かないのではと話していただきました。

まずはバリアフリーになったので一安心ですね！



施工前



施工後